

記念メッセージ 東京秋工会80周年に寄せて

会長退任の挨拶と 東京秋工会80周年に思うこと

三平 俊悦

(昭和39年建築科卒)



東京秋工会の皆様におかれましては、常日頃から会の運営につき、物心両面にわたりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。そして昨年末に母校が駅伝・柔道の全国大会に出場した際には、皆様からご支援を賜りましたことに御礼を申し上げます。

皆様ご承知の通り新型コロナウイルスの影響が全世界に及び、感染予防と共に経済に深刻な影響をもたらしております。早く終息し、11月7日の80周年「記念総会・金砂の集い」を開催できることを願っております。

私は平成20年に澤木誠一会長より引き継ぎ、4代目の会長として11年間・会長職として務めさせていただきました。昨年の総会において会長退任をお願いしましたが、本年1月18日の役員会において承認していただきました。長い間東京秋工会の発展と充実に微力ながら貢献できたことと、会長として在任中に東京秋工会創立70周年記念を迎えたこと、新校舎落成記念に参加したことや平成27年に京都駅伝大会において快挙4位入賞に感激しました。また平成29年にバスケット部が34年ぶりにウインターカップに出場し、3回戦進出して母校の活躍に誇りを感じました。退任にあたり深く喜びを感じております。これもひとえに、役員・会員の皆様方のご協力の賜物と心から感謝とお礼を申し上げます。後任会長に佐々木進氏と幹事長に遠藤久志氏のお二人に、バトンタッチすることができました。皆様方から私にいただきましたと同様の一層のご指導・激励・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。なお後任にラグビー一部全国大会16回目の優勝・野球部の甲子園出場を託したいですね。

1. 東京秋工会に関わっての思い出

私は建設会社に勤務していて、関西本部から昭和53年10月に恵比寿駅前の東京支店建築営業部に転勤しました。営業として人脈を探すため秋工同窓会名簿を調べたところ、恵比寿で設備工事を経営していた東京秋工会副会長の(故)加藤慶吉(S15Mラグビー部出身)氏と、昭和56年に幹事長になった斎藤右二郎(S26M)氏が加藤さんの仕事を手伝っていて、知り合うきっかけとなり、東京秋工会総会・懇親会に参加するようになりました。会を手伝ううちに二人の勧めで昭和57年(36歳)から幹事にさせられました。当時は会長(故)谷藤正三(S12M)氏と、幹事長(故)金子幸太郎(S26K)氏が運営しておりました。副会長の(故)加藤慶吉さんから誘われて初めて総会に参加したこの会で、昭和57年に三冠王を取得した「おれりゅう」の落合博満(S47A)氏を、東京秋工会総会・懇親会にお祝いとして招待していました。ところが出席の予定が、連絡も無くドタキャンされ、後楽園飯店に集まった東芝府中関係者・同窓生など多数の方々がかかりさせられました。急遽(故)遠藤幸雄(S30E)氏が挨拶されましたが、私は彼の「ふるさと・母校」の希薄さに、その後で大活躍されても応援する気持ちが薄れました。

当会には昭和57年～平成6年(幹事)、平成7年～平成19年(幹事長)、そして平成20年～令和2年3月(会長)と通算36年間お世話になりました。

2. 東京秋工会の入会当時と現在について

当時の幹事会は澤木会長の事務所において最初に乾杯して酒を飲みながら会議しました。二次会では新橋(澤木誠一・太田晋)、銀座

(志賀英一)や新宿(遠藤幸雄)に繰り出し親睦を深めて、諸先輩にご馳走になりました。やはり秋田人はお酒で始まりお酒で終わり酔って帰宅しました。当時バブル崩壊時期でもあり会費納入(1,000円)と総会の出席者が減少していました。会を盛り上げる為に平成2年の幹事会において、数々の意見の中から①当会の会報を作成し東京の活動を知ってもらって幹事を増やす。②会費を3,000円にアップ。③関東地区名簿作成。④同好会発足(ゴルフ・囲碁など)の提案がありました。これらを順次実行し会費納入・総会出席者が徐々に増えてきました。

3. 当時の当会の状態

①東京秋工会の700名ほどに総会・案内していましたが、平成11年度は年会費納入者100名、総会出席者が33名と激減しました。案内不足が原因でもありました。創立95周年記念(平成11年)に秋工同窓会名簿発行した機会に、関東地区在住者を抜粋し名簿を作成し、平成12年から総会案内2,100名強に発送することができました。②平成12年度に財政逼迫してきており、役員が会に20万円貸付しました(会長5万円・幹事長3万円・幹事1万円)。しかし3年後に債権放棄しました。また(故)佐々木昭夫氏(S25M)が旗と10万円を寄付し、(故)地主勝己氏(S37C)も同様に二旗を寄付しました。ゴルフ会も度々寄付をしました。③東京秋工会70周年を前後して、年会費250名・総会出席者が100名を超えるようになり、財政も安定してきました。④同好会は私が事務局として最初にゴルフでスタートしました。第1回は平成3年10月18日に(故)川端邦夫(S31MB)氏のメンバーコースにおいて、3組で開催しました。今年58回を秋に予定しております。⑤会報は、平成6年に第1号を発行しました。当時の編集・制作担当は船木一美氏(笹岡茂氏指導)、10号～20号は加賀谷健治編集長、21号～28号は嵯峨良平編集長が担当し、皆さんから会報の素晴らしさを評価されております。⑥3～4年おきに幹事になりそうな方を募集し、また総会でミニ同級会開催を推奨しました。⑦その後、詩吟・尺八(平成15年)、囲碁(平成17年第1回開催)、釣り(平成17年伊豆稲取)、パソコンHP(平成18年開設)、ハイキング(平成20年)、写真(平成23年)、民謡(平成25年)などの同好会が発足しました。

4. 私が参加した公式行事

①平成元年8月15日に創立85周年記念事業と同窓会館落成式が行われました。旧校舎当時に始業を告げていた鐘が高らかに打ち鳴らされ、紅白の幕が落とされました。東京秋工会から数名が参加しました。②平成6年10月1日に創立90周年記念式典・祝賀会に25名の参加と、同窓会交流ゴルフコンペに20名が参加しました。式典では寄付募金活動や秋田魁新報社社長・林善次郎氏(S21E)が「昔と今これから」を特別講演しました。同窓会からは屋外シャワーハウスが寄贈されました。③平成11年8月14日の創立95周年記念式典と同窓会館開館10周年記念祝賀会に10数名が、マーチングバンド鑑賞や記念ゴルフコンペに参加しました。④平成16年10月1日に創立100周年記念式典・祝賀会に20名が、翌日の交流ゴルフ会に18名が参加しました。記念講演は西澤潤一先生「これからの工業人として高校生に期待するもの」でした。⑤平成26年9月26日の創立110周年記念式典・祝賀会には、20数名が参加しました。記念講演は、植松電機専務取締役・植松努氏による「通信の話」でした。⑥10月4日に第29回国民文化祭が盛大に挙行政され、15名が参加しました。⑦令和元年9月27日の新校舎落成記念式典・祝賀会に参加しました。山崎圭子氏(秋田高校卒)のスタインウェイピアノ演奏が素晴らしかったです。⑧秋高連(澤木会長就任から)やけやき会(太田晋運営委員から)の総会・懇親会に参加しております。